

平成 30 年度
事業計画書

平成30年 4月～平成31年 3月

目 次

1. 平成 29 年度 法人 事業 概要
2. 平成 30 年度 法人 事業 計画
 - (1) 事業運営方針(理事長方針)
 - (2) 法人単位予算概要
 - (3) 職員配置・業務分担
 - (4) 会 議
 - (5) 委員会
 - (6) 年間行事
 - (7) 研 修
 - (8) その他

社会福祉法人 鶴 林 園

1. 平成 29 年度法人事業概要

平成 29 年度は、各事業所において業務を振り返り、ゼロベースで再考し確認することを意識した年度であった。特に社会福祉法人の制度改革や、予定される介護報酬改定は今後の福祉の在り方を方向づける重要なイベントであり、それに対応できる思考力が必要となるため、自ら考える力をつける機会と捉え取り組んだ。

なお、各事業所の推進状況については、事業所ごとに上程されている「平成 30 年度 事業計画書」を参照されたい。

【平成 29 年度事業運営方針(理事長方針)】

1. すべての事業・業務につき、ゼロベースから再構築する。
 - ・それぞれの事業や業務は、何のためにあるのか、そこでは何をしなければならないのか、PDCA により実行する。
2. すべての職員が初心にかえり、全員でご利用者の幸福を追求する。
 - ・ご利用者の幸福と自分の幸福に焦点を当て、共に生きていくことの素晴らしさを創造する。
3. 自助、互助、共助、公助による職員育成を行う。
 - ・法人として、各事業所としての職員育成を徹底して行う。

事業における業績については、前年と比較して大幅に悪化した。今年度当初予算、第1次補正予算と比較しても業績は低迷し、組織として大きな岐路に立たされる結果となった。特に年々、全体的な利用者数は減少している。職員数については、前年同様、職員の産休等により減少しており、補充が追い付いていない。

よって今期は採用活動にも資金を投下し、人材確保に努めてきた。これ以上、影響を拡大させないために、また、ご利用者の充実した生活を確保するためにも、人材不足解消策は死活問題として継続的に取り組みたい。

支出面ではさらに、修繕と大型の設備更新が続いたが、30 年度以降も計画的に進めてご利用者の住環境整備、職員の職場環境整備に努めたい。

(単位:千円)

科目	平成 29 年度 当初予算	平成 29 年度 一次補正予算	平成 29 年度 決算予想
事業活動収入	1,073,130	1,079,970	1,068,010
事業活動支出	1,019,990	1,054,350	1,048,140
事業活動資金収支差額	53,140	25,620	19,870
修繕積立資産支出	0	0	0
当期資金収支差額	370	-19,200	-14,630
当期末支払資金残高	386,189	368,153	372,723

2. 平成 30 年度法人事業計画

(1) 事業運営方針(理事長方針)

鶴林園は創立50周年を迎えた。

この大きな節目を無事に迎えられたことは、法人内外の関係各位のご支援、ご協力の賜物であり、心から御礼申し上げる次第である。

鶴林園創立51年目に当たり、所信の一端を申し述べ、平成30年度はこれを基本に各事業所において具体的な目標を設定、鶴林園グループの総力を結集し、全職員が強い信念とチャレンジ精神で取り組み、次の50年に向け力強く第一歩を踏み出すこととしたい。

1. 全職員が自信と誇りを持って、第一歩を踏み出そう。

歴史と伝統のある鶴林園、更なる第一歩を歩み始めるために各事業所は先ず次の3項目を手掛けよう。

- (1) 過去の歴史を整理する。
- (2) 現在置かれている状況を確実に把握し、全員で共有する。
- (3) 3～5年の中期展望を組み立てる。

事業所の過去・現在・未来の理解は、事業運営のベースとなるもの。

現在は過去から生まれ、未来は現在から生まれる。

2. 良質な職員を育成し、働きやすい職場環境を自ら確立していこう。

上質な事業は、良質な職員から生まれる。

良質な職員の育成は、事業運営にとって必須事項であり、最大の関心事である。

事業の原点、福祉の原点に立ち返り、全職員が各自の役割を認識し、その達成のために最大限の努力を払うことにより、働きやすい職場環境が自ら醸成されてくる。

3. ご利用者一人ひとりの幸福は、それぞれの生きがいや心の平安にあると心得、その達成のために、ご利用者と共に考え、実践してみよう。
 ご利用者の真の幸福は、ご利用者本人しか得ることができない。
 各職員は、鶴林園が培ってきたソーシャルワーク機能やチームワークを駆使して、その達成に日々努力しよう。

以上に基いて、各事業所は「平成 30 年度 事業計画書」を立案した。
 別に記載した事業所ごとの事業計画をご審議頂きたい。

(2) 法人単位予算概要

平成 30 年度は、今後益々厳しくなる事業環境を乗り越え、安定した法人運営で創立 51 年目を迎えたい。より一層の事業効率化と組織強化に努め、積極的にサービスの充実・利用者拡大に取り組む。

特に養護老人ホームにおいて特定施設入居者生活介護(一般型)を開始するにあたり、法人の収支構造が大きく変わるため、今後の事業戦略を立案し中期計画に盛り込む。

現時点において、平成 30 年度予算は概算として編成する。

さらに介護職員確保対策については今まで以上に注力し、法人の総力戦として取り組む。

(単位:千円)

科目	平成 29 年度決算予想	平成 30 年度計画
事業活動収入	1,068,010	1,122,290
事業活動支出	1,048,140	1,077,940
事業活動資金収支差額	19,870	44,350
修繕積立資産支出	0	0
当期資金収支差額	-14,630	-40,000
当期末支払資金残高	372,723	332,623

(3) 職員配置・業務分担

法人における経営および事業遂行については、以下別紙による。

- ①社会福祉法人 鶴林園 経営管理組織図(別添1)
- ②社会福祉法人 鶴林園 事業組織図 (別添2)

(4) 会議

法人における会議は、経営に関わる重要な審議の場と位置付け、次にあげるものとする。

会議名	開催時期	出席者
理事会・評議員会	6月、11月、3月、及び必要の都度	理事、評議員、監事、事務局
経営会議	毎月第4水曜日	理事長、統括施設長、園長、顧問、事務局長(補佐)、各事業所責任者、部長
理事長定例報告会	毎月第3木曜日	理事長、統括施設長、各事業所責任者
合同職員会議	5月、11月第3日曜日	全職員
第三者委員会	必要の都度	理事長、統括施設長、第三者委員、事務局長

(5) 委員会

法人全体の委員会活動は、次にあげるものとする。

委員会名	開催時期	出席者
安全衛生委員会	毎月	産業医、衛生管理者、事業者委員、労働者委員
防災委員会	偶数月	理事長、統括施設長、防火管理者、各事業所委員
車輛委員会	奇数月	安全運転管理者(正・副)、各事業所委員
広報委員会	毎月2回	統括施設長、各事業所委員

(6) 年間行事

法人全体の行事計画については次の別紙を参照されたい。

①「平成30年度 年間行事スケジュール」(別添3)

(7) 研修

職員の育成は法人に課せられた重要な使命であると認識し、次にあげる研修を法人全体の取り組みとして実施する。

研修名	開催月	研修内容
新入職員研修	4月	新入職員に対する入社時研修
弁護士による事例勉強会	概ね毎月	中堅職員に対する事例研修
新入職員フォローアップ研修	別途立案	入社後の職員に対するフォローアップ研修
中堅職員向け研修	別途立案	3年目以上の職員に対する教育研修
理事長職員研修	毎月第3水曜日	職員に対する理事長を講師とした教育研修

(8)その他

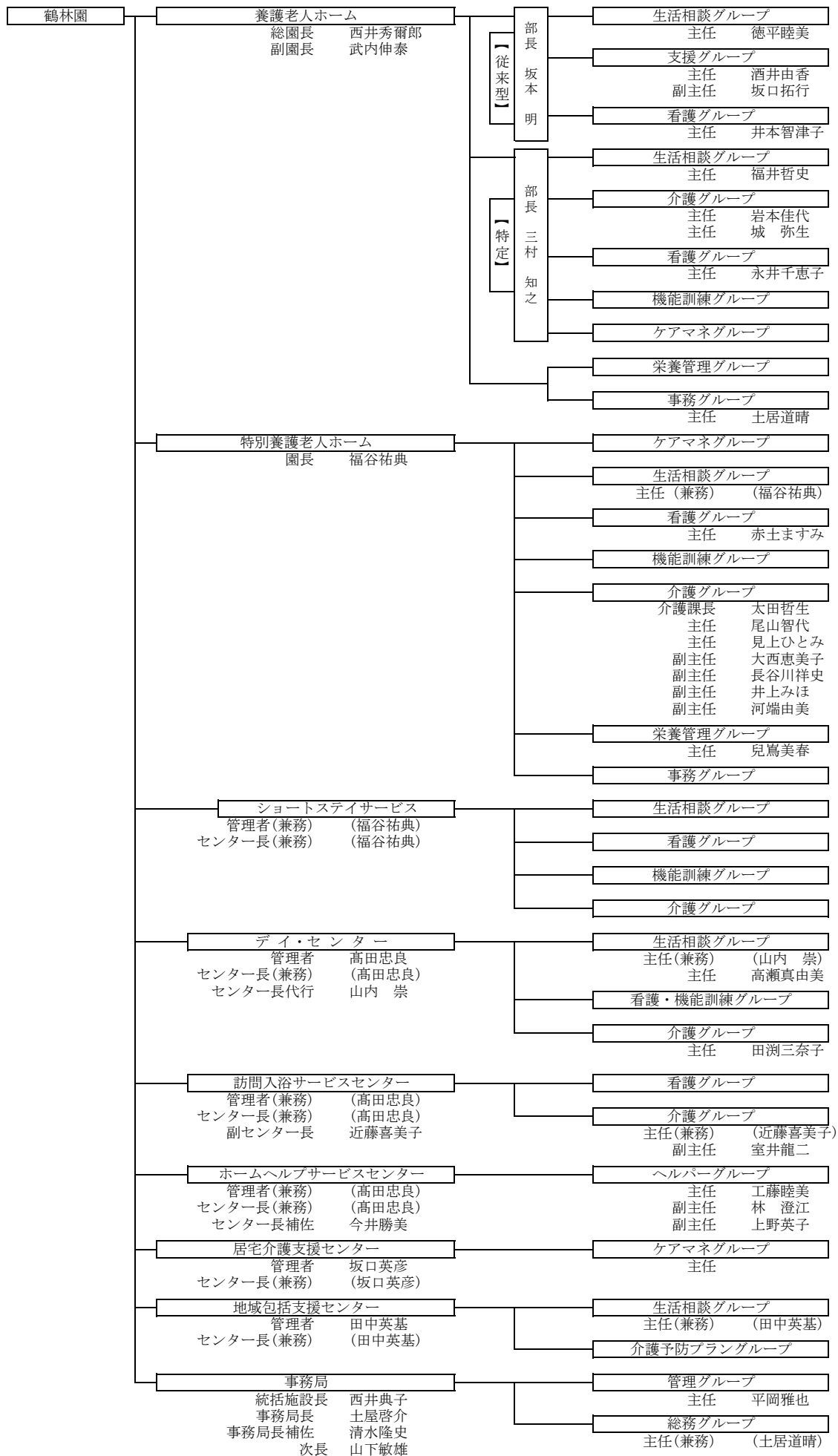
利用者満足度の向上と、サービスの品質向上のため、次の苦情解決体制で対応する。

- ①鶴林園苦情解決体制 (別添4)

社会福祉法人 鶴林園 経営管理組織図



社会福祉法人鶴林園 事業組織図



平成30年度 年間行事スケジュール

項目 月度	行	事
4月	入社式	4月2日(月)
	新人職員研修	4月2日(月)～4月4日(水)
	創立記念日	4月18日(水)
	職員のとどい<創立50周年記念行事>	4月18日(水)
5月	前年度書類整理点検(文書保管)	5月1日(火)～
	各事業所業務自主点検	5月9日(水)～5月16日(水)
	事業報告書・決算報告書 提出	5月18日(金)
	合同職員会議	5月20日(日)
	※加古川フィルハーモニー演奏会 <創立50周年記念行事>	5月20日(日)
	法人監事監査	5月21日(月)～5月24日(木)
	県・市指導監査受入準備完了	5月末
6月	理事会 事業報告	6月5日(火)
	※創立50周年記念式典 <来賓者>	6月9日(土)
	評議員会 事業報告他	6月20日(水)
	法人資産登記	6月22日(金)
	県・市指導監査開始	県指定日
	現況報告書提出	〃
	監査事前資料提出	〃
	県集団指導	〃
8月	盆踊り	8月9日(木)
9月	敬老会	9月15日(土)
10月	※鶴林祭 <創立50周年記念事業>	10月21日(日)
11月	合同職員会議	11月18日(日)
	第1次補正予算(案)	11月上旬
	理事会 補正予算	11月20日(火)
	評議員会 補正予算	11月28日(水)
1月	新年祝賀会	1月1日(火)
	新年度理事長方針示達<経営会議>	1月23日(水)
	新年度事業計画立案	1月23日(水)～
2月	第2次補正予算(案)	2月中旬
3月	事業計画(案)・新年度予算(案)提出	3月4日(月)
	理事会 予算(案)、事業計画(案)	3月19日(火)
	評議員会 予算(案)、事業計画(案)	3月28日(木)

平成30年4月1日

鶴林園苦情解決体制

事業所名 (施設長・管理者)	苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員
養護老人ホーム（従来型） 施設長 西井 秀爾郎	事務局 事務局長 土屋 啓介	部長 坂本 明	平野 雄幸 (元関西医科大学 渉外部長) 柳原 正美 (柳原経営労務研究所 所長)
養護老人ホーム（特定） 管理者 西井 秀爾郎		部長 三村 知之	
特別養護老人ホーム 施設長 福谷 祐典		園長 福谷 祐典	
ショートステイサービス 管理者 福谷 祐典		センター長 福谷 祐典	
デイ・センター 管理者 高田 忠良		センター長 高田 忠良	
訪問入浴サービスセンター 管理者 高田 忠良		副センター長 近藤 喜美子	
ホームヘルプサービスセンター 管理者 高田 忠良		センター長 高田 忠良	
居宅介護支援センター 管理者 坂口 英彦		センター長 坂口 英彦	
地域包括支援センターかこがわ西 管理者 田中 英基		センター長 田中 英基	